

議会だより

第56号

平成30年1月31日発行



▲10歳の児童が新成人から10年後の成人式の実行委員を託す任命書を受け取る2分の1成人式（1月7日、文化体育館）

新年を迎え、新たなスタート



▲消防団初出式で行進する女性消防団「なでしこ分団」（1月7日、三原健康広場）

主な内容

- 第74回臨時会の結果 …… P 2～3
- 第75回定例会の結果 …… P 4～9
- 一般質問 …… P 10～16
- 議会活動日誌 …… P 17
- 一部事務組合議会の報告 …… P 18
- 政務活動費の実績報告 …… P 19



南あわじ市議会ホームページ
<http://www.city.minamiawaji.hyogo.jp/site/gikai/>

議長就任挨拶

開かれた議会を目指して



廣内 孝次 議長

昨年10月に市議会議員選挙が行われ、11月の役員改選において第13代議長に就任させていただくことになり、身に余る光栄と存じますとともに、その重責に身の引き締まる思いであります。市民の皆様には信頼され負託に応えられるよう誠心誠意頑張る所存です。

大きな期待の中で、市民と行政が一体となり互いに協力することが重要であるとして、「対話と行動」を掲げ市政に取り組んでいます。私たち市議会は二元代表制の一翼を担う存在で議会と市長は車の両輪といわれ、同じ方向に回らなければ前に進まないと言われます。しかし議会はつねに執行部に対して監視、評

価機能を十分発揮するとともに、政策形成機能の充実が求められています。そのためには幅広い世代の皆様方から意見を聞く広報広聴活動は重要であります。広報紙の発行、インターネット配信やケーブルテレビによる放送、子ども議会や議会報告会の開催、各種団体との意見交換会の開催などにより、市民と議会が

より身近な関係になるよう、開かれた議会を目指していかなければなりません。市民の皆様方におかれましては、南あわじ市発展のため、より一層のご理解、ご協力をお願い申し上げます。議長就任の挨拶とさせていただきます。



木場 徹 副議長

新しい委員会の構成

◎=委員長、○=副委員長。名前は写真左上から掲載。

総務常任委員会



北村利夫 印部久信 谷口博文 木場 徹
中村三千雄 ◎原口育大 ○蛭子智彦 登里伸一

【所管事務】
総務部、企画部、危機管理部、市民部、会計課、選挙管理委員会、監査委員の所管に関する事項及び他の常任委員会の所管に属さない事項

産業厚生常任委員会



久米啓右 土井 巧 小島 一 北条志津子 熊田 司
阿部計一 ◎長船吉博 ○太田康文 吉田良子

【所管事務】
福祉部、農林水産部、建設部、教育委員会、農業委員会の所管に関する事項

議会広報広聴常任委員会



土井 巧 阿部計一 太田康文
北条志津子 ◎久米啓右 ○吉田良子

【所管事務】
広報活動、広聴活動、議会広報紙、議会報告会に関する事項

議会運営委員会



原口育大 木場 徹 谷口博文
長船吉博 ◎小島 一 ○蛭子智彦

【所管事務】
議会の運営、議会の会議規則、委員会に関する条例等、議長の諮問に関する事項

議決結果一覧

提出者	議案名	議決結果 (議会の意思)
市長	29年度一般会計補正予算(第4号)の専決処分	承認
市長	監査委員の選任(印部久信議員)	同意
市長	南あわじ市・洲本市小中学校組合議会議員の選任(小島 一議員、吉田良子議員、土井 巧議員、多田宗儀氏、長尾重信氏)	同意

第74回南あわじ市議会臨時会が11月21日から11月22日までの会期で開かれ、議長・副議長選挙、常任委員・議会運営委員の選任などを行いました。また、市長より議案3件の提出がありました。いずれも全議員賛成でした。

第75回定例会が、12月4日から12月22日まで開かれ、市長より提出された条例や補正予算など44件を審議しました。また、議会からは議案1件を提案し、審議しました。主な議案の内容と質疑、採決の結果をお知らせします。



▲12月定例会で議案の審議を行う議員

- 一般会計補正予算6億5747万円の追加
 - 湊地区公民館改修工事請負変更契約の締結
 - 公の施設の指定管理者の指定(さんゆ〜館など)
- 45議案を可決

12月定例会の日程

- 12月4日 定例会第1日目(議案上程ほか)
- 〃 12日 〃 第2日目(一般質問)
- 〃 13日 〃 第3日目(一般質問)
- 〃 14日 〃 第4日目(〃、議案追加上程)
- 〃 18日 総務常任委員会(議案審査)
- 〃 19日 産業厚生常任委員会(議案審査)
- 〃 22日 定例会第5日目(採決ほか)



▲傍聴者に貸し出している磁気ループ受信機

※耳が聞こえにくい方のために議場に磁気ループを設置しています。12月の定例会で使用した傍聴者からは、「よく聞こえ、良かった」などの声をいただきました。

陸の港西淡駐車場整備工事費などを追加

平成29年度一般会計補正予算(第5号)

■議案内容

歳入歳出それぞれに6億5747万7千円を追加する。

■主な質疑

歳出

▼庁舎改修工事費

1400万円の追加

問 補正予算で計上するのはなぜか。

答 本館1階に総合窓口の設置、第1別館1階への上水道・下水道の窓口の集約等を行い、平成30年4月1日から業務開始できるようにするため。

▼陸の港西淡駐車場整備工事費

450万円の追加

問 駐車場8台分の増設予算だが、さらに拡張すべきではないか。

答 淡路地域の交通計画の中で陸

の港西淡を南あわじ市の拠点としており、将来的に拡張も考えたい。

▼小中学校就学援助費

561万9千円の追加

問 市独自の子育て支援策として行うのか。

答 国の基準に基づき、支給時期を前倒しし、準要保護世帯への入学金として支給するもの。

▼淡路人形浄瑠璃保存伝承事業補助金84万6千円の追加

補助金の支払先は。

問 平成28年度ふるさと納税分の確定により、淡路人形協会に支払う。

答 寄附金はすべて淡路人形座の運営経費として使うべきではないのか。

問 納税額のうち4割は基金として積み、今後必要となってくる淡

路人形浄瑠璃館の改修財源に充てたい。

▼公民館耐震診断・補強計画策定業務委託料

510万円の追加

問 追加の理由は。未だ耐震補強ができていない公民館があるのか。

答 福良地区公民館は、当初新築工事を予定していたが、予定地の

地盤が軟弱であったため耐震補強工事に変更するもの。市、神代、八木地区公民館等の旧耐震基準の施設も順次改修していく。

■議決結果

賛成多数で原案可決

湊地区公民館改修工事請負変更契約の締結

■議案内容

追加工事のため、工事請負変更契約の締結を行う。2559万円を増額する。

■主な質疑

問 増額の内訳は。

答 エレベーター棟風除室1千万円、2階ホール吊天井1千50万円、アスベスト除去500万円である。

問 追加工事が必要となった経緯は。

問 再度の石綿含有調査で、階段室天井から最も重度であるレベル1のアスベストが検出されたため。

答 工事請負契約の議決後に、安易な設計変更が行われると、入札や議決の意味をなさない。

問 不注意による誤りをなくし、気を引き締めて職務に当たるよう指導していく。

■議決結果

賛成多数で原案可決

さんゆく館の指定管理に(株)かいげつを指定 公の施設の指定管理者の指定

■議案内容

さんゆく館の指定管理に(株)かいげつを指定する。指定期間は平成30年4月1日～平成35年3月31日まで。

■主な質疑

問 健康増進施設としての役割が十分発揮できていないのでは。

答 指定管理者から健康ワークショップの開催等が提案されている。健康増進を念頭に市からも要望していく。

問 今後の施設の修繕計画は。

答 公共施設の長寿命化による改修計画により行う。50万円を超える修繕は、指定管理者からの申し出により、必要な部分は市が進める。

■委員間討議

・審査項目に、市民からの要望や苦情に対する処理能力について追加すべき。
・利用者が快適に施設を利用でき

るように努める企業倫理を持っているかを審査対象にする必要がある。
・修繕内容と50万円という金額の妥当性について、研究する必要があるのでは。

■討論

反対 吉田 良子議員

■討論要旨

現在、民間事業者が市からの指定管理料の支給を受け経営しているが、年会員制度での利用料金が、旧三原町が運営していたときに比べて負担が増えている。指定管理を見直し、市民満足度が高い施設にすべきである。

■議決結果

賛成多数で原案可決

ゆとりつくの指定管理者に(株)ザッピ―西淡を指定 公の施設の指定管理者の指定

■議案内容

ゆとりつくクアハウスとクラブハウスの指定管理に(株)ザッピ―西淡を指定する。指定期間は平成30年4月1日～平成35年3月31日まで。

■議決結果

賛成多数で原案可決



▲スポーツ施設と温浴施設が併設する「ゆとりつく」

■主な質疑
問 平成28年度の修繕実績は。
答 50万円以下の修繕が52件で、253万7千円、50万円を超える修繕は、温浴施設の電気風呂の修繕に215万5千円支出した。
問 うずしお温泉の供給量が週約28トから約8トに減っているが対応策は。
答 湧出量が安定してきており、元の供給量まで戻すことが可能かどうかを協議している。また、新たな泉源調査も行っている。

丸山海釣り公園などの指定管理者に南あわじ漁業協同組合を指定 公の施設の指定管理者の指定

■議案内容

丸山海釣り公園、生産物直売所、丸山漁業活性化センターの指定管理に南あわじ漁業協同組合を指定する。指定期間は平成30年4月1日～平成33年3月31日まで。

■主な質疑

問 収支計画書で、収入1300万円に対し、人件費1250万円となっており、運営上問題があるのでは。

答 旧西淡町時代の雇用促進メニューに基づいて漁業組合の職員を配置している。経営改善については、売り上げを伸ばす工夫を指定管理者が主体となって市及び商工会と昨年より協議している。

■委員間討議

問 生産物直売所の売上増に向けた対策は。
答 アンケートを実施し、お客様のニーズを把握し改善に取り組みしていく。

■討論

反対 原口 育大議員

■討論要旨

年度協定では、毎年発生する420万円の収支不足は、指定管理料として市から補填されることになっており、はじめから赤字補填が約束された協定では、経営改善に向けたインセンティブが働かない。

■議決結果

賛成多数で原案可決



▲丸山海釣り公園に隣接した生産物直売所「魚彩館」

浮体式多目的公園の指定管理者に福良漁業協同組合を指定 公の施設の指定管理者の指定

■議案内容

浮体式多目的公園(メガフロート)の指定管理に福良漁業協同組合を指定する。指定期間は平成30年4月1日～平成35年3月31日まで。

■議決結果

答 平成26年3月の調査の結果、補強には3億5千万円で、撤去にも相応額が必要とのこと。指定管理者が運営を続けていきたい意向を持っている。

■主な質疑

問 津波による危険性への対策は。

■議決結果

賛成多数で原案可決

地域包括支援センターの職員及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

■議案内容

主任介護支援専門員の更なる資質向上を図ることを目的に、主任介護支援専門員の定義を改める。

■主な質疑

問 主任介護支援専門員が1名不足しているが補充は。
答 主任介護支援専門員になるには、10年以上の経験が必要で正規職員の採用は困難。嘱託職員を募

集している。

問 職員不足が長期化しないよう、抜本的な人員配置の見直しが必要ではないか。
答 センターを他の組織に委託することを検討しており、現時点では判断が難しい。

■議決結果

賛成多数で原案可決

集している。

名誉市民選考委員会を設置

名誉市民条例の一部改正

■議案内容

名誉市民の選考に係る事項を調査審議する南あわじ市名誉市民選考委員会を設置する。

■主な質疑

問 旧町で名誉市民は何名いたか。

答 旧西淡町5名、旧南淡町で25名いたが、12月18日現在、1名のみ存命。

問 選考基準は。

答 縁故の深い者で公共の福祉を増進し産業文化の進展に寄与し、その功績が卓絶であり、市民の尊敬の的として仰がれるなど、総合的に判断したい。

■議決結果

賛成多数で原案可決

※名誉市民の滝川弘氏におかれましては、12月31日にご逝去されました。ご冥福をお祈りいたします。

南あわじ市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

■議案内容

名誉市民選考委員会の設置並びにいじめ問題対応委員会委員長に係る報酬の改定に伴い、所要の改正を行う。

長には、どのような資格者を想定しているのか。

答 弁護士を想定している。

■議決結果

賛成多数で原案可決

■主な質疑

問 いじめ問題調査委員会の委員

淡路広域行政事務組合の規約変更

■議案内容

淡路広域行政事務組合の共同処理する事務を変更することに伴い、本規約を変更する。

■討論

反対 蛭子 智彦議員

■討論要旨

農業共済に収入保険制度を導入するものだが、農業者を青色申告

納税者とそれ以外に選別し収入保障する考え方は問題であり、賛成できない。

■議決結果

賛成多数で原案可決

議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

■議案内容

人事院勧告に準拠し、特別職及び一般職の期末勤勉手当の引き上げと同様、議員についても引き上げを行うため、所要の改正を行う。その内容は、期末手当を年間で0・1月引き上げる。

■議決結果

賛成多数で原案可決

議決結果一覧

議長は表決に加わらない。(○は賛成、×は反対、※は退席)

■賛否の分かれた議案

提出者	議案名	議決結果 (議会の意思)	各議員の賛否															
			中村三千雄	阿部計一	登里伸一	北村利夫	印部久信	長船吉博	吉田良子	木場徹	小島一	久米啓右	北条志津子	谷口博文	土井巧	原口育大	熊田智彦	蛭子康文
市長	29年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	淡路広域行政事務組合規約の変更	原案可決	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	湊地区公民館改修工事請負変更契約の締結	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	公の施設の指定管理者の指定(さんゆ〜館)	原案可決	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	公の施設の指定管理者の指定(ゆーふる)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	公の施設の指定管理者の指定(伊弉漁港海岸環境施設)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	公の施設の指定管理者の指定(丸山海釣り公園、生産物直売所、丸山漁業活性化センター)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議会運営委員会	議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

■全議員賛成の議案

提出者	議案名	議決結果 (議会の意思)
市長	一般会計補正予算(第5号)	原案可決
市長	国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決
市長	介護保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決
市長	ケーブルテレビ事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決
市長	下水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決
市長	農業共済事業会計補正予算(第1号)	原案可決
市長	国民宿舎事業会計補正予算(第1号)	原案可決
市長	広田財産区特別会計補正予算(第1号)	原案可決
市長	福良財産区特別会計補正予算(第1号)	原案可決
市長	北阿万財産区特別会計補正予算(第1号)	原案可決
市長	沼島財産区特別会計補正予算(第1号)	原案可決
市長	一般会計補正予算(第6号)	原案可決
市長	国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決
市長	介護保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決
市長	産業廃棄物最終処分事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決
市長	ケーブルテレビ事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決
市長	下水道事業会計補正予算(第2号)	原案可決
市長	農業共済事業会計補正予算(第2号)	原案可決
市長	国民宿舎事業会計補正予算(第2号)	原案可決

提出者	議案名	議決結果 (議会の意思)
市長	公の施設の指定管理者の指定(足湯施設)	原案可決
市長	公の施設の指定管理者の指定(ゆとりっく)	原案可決
市長	公の施設の指定管理者の指定(バイオマス活用施設)	原案可決
市長	公の施設の指定管理者の指定(浮体式多目的公園)	原案可決
市長	公の施設の指定管理者の指定(サンプル)	原案可決
市長	29年度農業共済事業に係る農作物共済無事戻金の支払い	原案可決
市長	29年度農業共済事業に係る園芸施設共済無事戻金の支払い	原案可決
市長	字の区域の変更(倭文、湊地区)	原案可決
市長	職員の育児休業等に関する条例の一部改正	原案可決
市長	特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正	原案可決
市長	名誉市民条例の一部改正	原案可決
市長	市税条例の一部改正	原案可決
市長	農村地域工業等導入地区における固定資産税の課税免除に関する条例の廃止	原案可決
市長	企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化のための固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正	原案可決
市長	地域包括支援センターの職員及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	原案可決
市長	農業共済条例の一部改正	原案可決
市長	特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部改正	原案可決
市長	職員の給与に関する条例の一部改正	原案可決

一般質問 市政を問う

12月12日、13日、14日の3日間にわたって、13人の議員が一般質問を行いました。
なお、市ホームページでさんさんネットで放送した「一般質問」の番組を
動画配信していますので、ご覧ください。

閲覧方法 「市のホームページ」 → 「南あわじ市議会」 → 「録画放送」
→ 「一般質問の録画配信」

●答弁者は次のとおり表記しています。

市長 → **長**、副市長 → **副**、教育長 → **教**、総務部長 → **総**、企画部長 → **企**、危機管理部長 → **危**、
市民部長 → **市**、福祉部長 → **福**、農林水産部長 → **農**、建設部長 → **建**、教育次長 → **次**

学校再編計画の今後 地域と共にある学校づくり

ゆづるはクラブ 太田 康文 議員



南あわじ市の小
学校の適正規模とは。
学校基本法施行
規則では12学級以上
18学級以下が基準で
あり地域に、特別な
事情がある場合はこ
の限りではないとあ
る。また平成27年文
科省発行の「公立小
学校・中学校の適正
規模・適正配置等に
関する手引き」に、
小中学校では、一定
集団の規模が確保さ
れていることが望ま
しいとあるので、最
低複式学級は考える
べき、また地域性を
鑑みながら、適正規
模を考えていく。



▲地域と共にある学校づくりが望まれる

その手引には、学
校規模の適正化に関
する基本的な考え方
があり再編において
重要な二点を挙げて
いる。一点が『教育
的な観点』もう一点
が『地域コミュニティ
の核としての性格へ
の配慮』。ここ
には『学校教育
育は、まちづ
くりと密接不
可分であり、
学校規模の適
正化の検討は、
行政が一方的
に進めるもの
ではなく、直
接の受益者で
ある児童生徒
の保護者や就
学前の子ども
の保護者の声
を重視しつつ、

地域住民の十分な理
解と協力を得る、地
域と共にある学校づ
くりを行うことが望
まれる。』とある。こ
の点はご存知か。
長 その手引を直接
読んだことはないが、
文科省を初めとし、
色んな所が学校を地
域づくりの大きな要
素として考えている
ことは承知している。

広田保育園の移転、保護者、 地域の合意づくりを大事に

日本共産党南あわじ市議団 蛭子 智彦 議員



広田保育園の移
転、拡張計画を保護
者、住民に説明して
いるか。
福 方向性が決まっ
ていないのででき
ていない。
問 広田保育園の民
営化を検討している
から進められないの
か。
福 広田保育園に限
らず民営化は検討し
ている。
問 保護者の声を聞
いているか。
福 聞いていない。
問 公立で支障があ
るのか。
福 支障はない。老



▲待機児童が心配される広田保育園

朽化も進み、3歳未
満児の100%受け
入れもできない状況
である。
問 遅れているのは
問題だ。保護者、住
民と対話して早く踏
み出すべき。
福 地域、保護者へ
説明して進めて行き
たい。できれば今年
度中に用地取得して
いきたい。
問 先延ばしは許さ
れない。早期移転を
強く求める。
認 認知症対策を本
的に強めるべき
問 認知症に関連し
て悲劇的なことも起
こっている。早期発
見、治療の対策は。
福 百歳体操での
チェックシート、か
かりつけ医での受診

相談、専門家の支援
チームの結成などを
行っている。
問 介護保険では認
知症は介護度が低く
施設入所ができない
と言われる。
福 総合的に判断し、
市長の意見を付して
入所も可能となる。
他に企業誘致、低
地対策では高潮、三
原川堤防の護岸補強、
櫛田、江尻の小型排
水ポンプの新設管理
を質問、積極的な対
応を求めた。

介護保険料の引き下げ、 介護サービスの充実を

日本共産党南あわじ市議団 吉田 良子 議員



2018年4月
から第7期介護保険
事業計画が始まるが、
介護保険料の引き下
げはどうか。
福 保険料が上昇す
ることは避けられな
い。
問 特に所得の低い
人の保険料の引き下
げは必要ではないか。
福 バランスのとれ
た保険料を設定した
い。
問 要支援のデイサー
ビス、ホームヘルパー
サービスについて。
福 デイサービスは
従来どおり、ホーム
ヘルパーは4月から



▲残り1区画の企業団地

緩和したサービスの
仕組みをつくりたい。
問 ミニデイサービ
スの廃止ではなく存
続を。
福 今後社会福祉協
議会と話し合いたい。
子育て支援の充実を
問 待機児童をださ
ない対策は。
福 入所の優先順位
を決める。空きがで
た段階で情報提供し
たい。
問 保育所の土曜日
時間の延長、病児保
育の実施については。
福 病児保育は市保
育所で施設整備を考
えていきたい。
問 正規保育士を希
望する方が多いが採
用はどうか。
長 新年度は予定よ
り4名増やして採用

する。
問 新小学1年生の
入学祝金の増額、ま
た中学入学時の制服
代等で14万〜17万円
必要になる。入学祝
金の支給はどうか。
教 全体を見ながら
考えていきたい。
**企業団地への企業
誘致は**
長 声かけをしてい
るが、条件に合うと
ころが少ないのが実
態。

職人集団による淡路型住宅の提案を支援できないか

ゆづるはクラブ 原口 育大 議員



問 子育て世代にとつて、大工に相談しながら家を建てるのはハードルが高く、どうしても住宅展示場で既存のハウスメーカーにお願いすると思う。モデルハウスに対抗するような、淡路瓦を使った比較的安価な住宅を提案するプロジェクトを支援できないか。

長 これまで組合の話は「瓦が重いので家屋が壊れたわけではない」という守りのPRが中心であったが、新しい使い方を打ち出すのは一つの方向



▲シンプルに木と漆喰と瓦の外観、デザインがモダンでも、これらの素材の組合せで土着的な感じがして飽きない

だがと思う、瓦を使うとこんないいことがあるという点で何かもう一つ欲しい。また、古い瓦の使い道で、いろんな工夫をしていく価値はあると思っています。その他、水害に強い圃場整備の推進・高齢者等元気活躍事業について質問した。

国道28号線の延長について

市民連絡クラブ 北村 利夫 議員



問 夢のある質問をする。道路は地域の発展、活性化に重要な役割を果たすと思いませんか。

建 大きく分けて3つの役割がある。交通機能、地域開発の基盤整備、ライフライン収納等地域の発展、活性化に重要な役割を果たすと認識している。



▲防災訓練で避難所に避難する市民(阿万小学校)

問 夢のある質問をする。道路は地域の発展、活性化に重要な役割を果たすと思いませんか。

危機管理について

南あわじ市を愛し、誇りに思える地域創生について

誠道クラブ 谷口 博文 議員



問 人口減少、少子化問題、未婚対策について。

長 子育て支援は非常に重要であるので、継続していききたい。出来れば強化していきたい。マイホーム取得事業に関しては、要綱で四年間やる事になってるので、今変えるのは適当でないかと思ってるが、人口増という意味合いもあるが、近所で移動するだけだと余り意味がないのでこの辺は見直していく必要があるかと思ってる。



▲子育て学習・支援センターで遊ぶ親子

問 教育に關し市長の考えは。長 教育はまちを愛し将来を担う子供を育てる意味で非常に重要である。南あわじ市の教育はこうだと先生方も胸を張って言える様な環境づくりが重要だと思ってるので、力を入れていきたい。その他、防災対策、低地高潮対策、農畜水産業の現状、観光振興、企業誘致等を質問した。

オニオン道路の早期接続

創世クラブ 久米 啓右 議員



問 オニオン道路について、市内の未施工箇所は。農 八木地区は200mが未施工で、地権者は1人。神代地区は約400mが未施工。

問 地区の生活道路へ迂回する車が多い。市民の安全のため、早期にオニオン道路の接続を望んでいる。



問 保育士の充足状況の把握方法は。福 毎月保育所から担当課に管理表が届く。それにより園児数及び保育士の配置状況を確認している。

ゆづるはクラブ 小島 一 議員

市民に信頼される市役所について

問 最近本市において、職員や教員の不祥事が相次いでいることについて。

総 こと最近、不祥事が相次いでおり、再発防止と信頼回復に向け取り組んでいるが、断腸の思いであり、事実関係の把握に努め、再発防止等市民や島民の皆様方の信頼回復に向けて、今後厳正に対処していく所存である。

南あわじ市の将来像実現に向けて

問 総合計画と都市計画マスタープランについて、イメージに頼ったようなもの



▲都市構造図(南あわじ市都市計画マスタープランより抜粋)

でなく、きちんとした計画をしなければならぬのではないのか。 長 将来の地域の特徴にあった形を考え、計画的なまちづくりをしていく必要がある。計画性がないままに、インフラを整われないまま人口が増えていくのは非常によろしくないと考えているので、その辺はきっちり考えていきたい。

南あわじ市公明党 熊田 司 議員

在宅医療制度の整備を望む

問 南あわじ市での在宅医療の取り組みは。

福 退院後の支援・日常の療養支援・病状の急変時の対応等、患者の状況に分けて、関係者の連携を推進する体制整備を計画し、実施している。 市 本市では、昨年の4月から地域包括支援センターで自宅医療・介護連携相談窓口を開設し、随時相談支援を行っている。また、在宅医療・介護連携担当の医師と介護サービス事業所との連携や患者の急変時の対応についても

検討している。 振り込め詐欺から市民を守れ

問 当市の被害状況は。 市 平成29年1月から12月5日まで、警察に届け出があったのが、4件で1414万円。当市の消費生活センターでは平成28年度で相談件数が154件あった。

今後、福祉部と連携しながら講習会の計画をしていきたい。 問 注意喚起の言葉、警察や消費生活センターの電話番号を書いたシールを携帯電話のカバーの裏側や高齢者のいる家庭に貼ってもらうなどの対策は考えられないか。 市 今後いろんな方法で注意喚起を行っていきたい。



問 最近では知的障がい者で被害に遭っている方が多いらしい。講習会等を開催し注意喚起してはどうか。 市 現在の高齢者を対象に講習会を開催しているが、



▲地域包括支援センター窓口

市民連合クラブ 印部 久信 議員

南あわじ市の消防、防災、防犯について

問 消防団員の推移は。

危 全国では86万人でピーク時は200万人。 問 市の消防団員数は。

危 広域消防の職員数は184名。(南淡分署と西淡出張所で38名) 消防団員2171名。 問 サラリーマンの割合は。

危 70数%。 問 救急車の出勤回数。 危 平成27年1882件、平成28年1911件で増加傾向。



問 火災の発生状況は。

危 平成28年全国3万6831件、南あわじ市18件。 問 原因は。

危 放火9・7%、たばこ9・5%、こんろ8・5%、放火の疑い6%、たき火5・8%。 問 サラリーマン団員の勤務時の消防活動は事業者の理解で行われていると思うが実態は。

危 消防団協力事業所表示制度があり、市内23事業所を認定。認定されていない企業については地域防災のかなめという事で、御理解いただいていると解釈している。 問 火災時の瓦礫の処分は。



▲消防団による消防ポンプ連結訓練(阿万)

危 個人で処理するのが基本。本市では、火災の廃棄物は公共施設で処理可能なものに限り減免。

問 行方不明者の捜索について。 危 行方不明者の家族から警察署へ届け出、家族の承諾があるものについて防災メールで配信。

問 独居老人、高齢者の安否確認については。 福 協力事業者と協定を結び高齢者見守り事業を実施している。

ゆづるはクラブ 北条志津子 議員

窓口対応の充実を

問 案内係の位置替えや正面玄関の明確化と掲示板の整理整頓は。

総 業務を見直し効率、効果的に。わかる案内板設置、整理整頓、窓口体制を構築する。 問 授乳室等の設置やシニア雇用で子どもの一時的預かり場を日当たりの良い所での設置を。

総 既に授乳室を設置。提案内容は検討する。 問 地区公民館の土日曜日の開館は。 教 土日等の開館要望は承知。今後、ど



のように工夫してできるか検討する。 らん・らんバスの利用促進を

問 公共交通の利用促進は。 建 4月からの再編では、もう少し拡大し殆どの病院、商業施設等を回るルート再編計画をしている。 問 陸の港バス待合所の完成は。バス停に素屋根や待合所の設置、時刻表等の更新は。

建 陸の港改修は3月末完成予定。既に主立った所はご配慮いただいている。気持ちよく待ち時間を過ごせるように考える。 問 市地域公共交通会議の男女別の委員構成は。



▲市内を回るらん・らんバスに乗ろう

教育施設の統廃合に住民意見を
取入れ、推進する考えは

問 平成23年教育施設
の再編計画の中で、
三原志知と西淡志知
の統合が出来なかつ
たが、どの位努力を
したのか。

次 再編計画を説明
し27年までに各地域
の中でまとまった話
を最優先に取り組ん
できた。

問 24年の住民説明
会では中学校区、合
同説明会の開催、跡
地利用、通学方法に
質疑が出て、その後
地域の会議が開かれ
ていないが。

次 地域に全然説明
しなかったが、28年



建 丸山バイパスの
未着手については、
県土木とは毎年、

県道の未整備区間
の対応

問 行政課題を解決
できる体制づくりを。
長 業務の見直し、
新しい政策、市民と
の対話に集中する必
要があり、新組織は部
局を大括りにし横の
繋がりを持って仕事
ができる体制にする。



▲西淡志知小学校

事業調整会議を持ち、
県も進捗に期待して
おり、用地協力等で
市として進めている。

新火葬場の建設

問 新火葬場の建設
年次計画は。

市 今、設計業務を
発注し、工事着手は
30年10月、完成は31
年12月の予定。

問 予定地の土質、
水質調査は。

市 いずれも基準値
以下。

問 隣接自治会との
合意形成は。
市 役員さんと協議
を進めている。

償却資産税の免税を

問 瓦の三大産地の
一つ淡路瓦は、製造
業者を始め関連産業
の裾野は広い。55
0種類以上の瓦、も
のづくりの根幹であ
る技術と技能の伝承
等、大手事業所だけ
でなく小事業所も、
関連産業も維持でき
なければ産地を形成
できない。一時休業
と考えても償却資産
税はついて回るので、
取壊しとなる。産地
を守るために一定期
間の免除はできない
か。

市 税の公平性の観
点から、特定の業種
のみを優遇すること



津井地区の
医療の空白に
ついて

問 西淡地域の
住民に慕われ、
地域医療と島内
医療の確立にご
貢献された大森
弘之先生の診療
所が閉院となつ



▲いぶし瓦検品作業

は非常に難しい。
長 税制はルールに
従ってやっている。
払うべきものを減免
するのは、相当な理
由づけが必要である。
瓦は地域の重要な資
産だ。支援は将来ど
ういう形でこの産業
を伸ばし発展させる
のか、業界も形をつ
くっていただき、市、
県、国のいろんな制
度を適用して伸ばし
ていくことが本
筋だと考える。

た。今後の対応と他
の医療機関への良好
なアクセス改善を求
める。また、市は先
生のご功績を顕彰し
ていただきたい。
福 医療の確保の難
しさは全国的な課題
である。直営診療所
の適切な運営、救急
医療体制の構築、医
療機関の連携、地域
包括ケアシステムの
構築、津井福祉の里
の開設等総合的に取
り組む。

議会活動日誌

10月〜12月の議会の活動
状況について次のとおり報
告します。

10月

- 1日 男子・女子ソフトボ
ル大会(議長)
- 14日 連合PTA家庭教育
講演会(議長)
- 21日 暴力追放・安全安心ま
ちづくり市民大会
(主議員)
- 25日 東京2020オリン
ピック・パリンピッ
ク競技大会を盛り上
げる「ソシオ体操動画」
への参加(議長)

12月

- 1日 議員協議会
- 8日 第2回新人議員研修
会
- 7日 第1回新人議員研修
会
- 6日 近畿地方治水大会
(議長)
- 5日 総合防災訓練(全議員)
全淡スポーツ大会
(議長)
- 9日 市議会議員共済会業
務監査及び理事会
(議長)
- 14日 議員懇談会(全議員)
- 21日 議会臨時会(第1日)
- 22日 議会臨時会(第2日)
- 23日 技能功労者表彰式典
(議長、総務委員長)
- 26日 商工会優良従業員表
彰式
(議長、総務委員長)
- 28日 B&G会長杯少林寺
拳法淡路大会(副議長)
- 1日 市民ゲートボール大
会
- 5日 南あわじ市・洲本市小
中学校組合議会定例
会
- 29日 南あわじ市・洲本市小
中学校組合議会定例
会
- 30日 年末特別警戒活動発
隊式(議長)
- 1日 議員協議会
- 2日 政経懇話会特別例会
(議長)
- 2日 淡路広域水道企業団
議会議員協議会(正副
議長、総務委員長)
- 3日 淡路島・ヘタノク選手
権大会(議長)
- 5日 鶴澤反路追善公演
(議長)
- 5日 議会定例会(第1日)
- 12日 議会定例会(第2日)
- 13日 議会定例会(第3日)
- 14日 議会定例会(第4日)
- 29日 総務常任委員会
- 18日 産業厚生常任委員会
- 19日 淡路広域団体組合議
会臨時会(正副議長、
総務委員長)
- 21日 淡路広域水道企業団
議会議員協議会(正副
議長、総務委員長)
- 22日 議会定例会(第5日)
- 26日 洲本市・南あわじ市衛
生事務組合議会定例
会
- 27日 灘黒岩水仙開園式
(議長、総務委員)
- 27日 消防団年末警戒の激
励巡視(議長)

行政視察の受け入れ状況

月日	議会名	調査内容
10月19日	北海道紋別市	防災対策
10月24日	岩手県花巻市(会派)	少子化対策
11月1日	秋田県北秋田市	あわじ島まるごと食の拠点施設
11月6日	岩手県八幡平市	あわじ島まるごと食の拠点施設

「政務活動費」29年度（4月～11月）分 実績報告

政務活動費は、議員の審議能力や政策立案能力の強化を図るため、調査研究に必要な費用の一部を会派に対し交付するものです。

交付金額は、1人あたり年間15万円（月額12,500円×12カ月）として、会派に交付しています。

29年度（4月～11月）の実績一覧表は下記のとおりです。

注）改選のため、4月～11月の実績となっております。使われなかった残金は市に返納されます。

交付額を超えた分は支給していません。

平成29年度（4月～11月）政務活動費収支実績一覧表

会派名 (人数)	交付額	執行額									返納額
		調査研究費	研修費	広報 広聴費	要請・陳情 活動費	会議費	資料 作成費	資料 購入費	事務費	計	
ゆづりはクラブ (4人)	400,000	309,254	11,986	0	0	0	0	0	13,253	334,493	65,507
市民連合・無所属クラブ (4月：4人、 5月～11月：3人)	312,500	47,390	0	0	0	40,000	40,543	0	0	127,933	184,567
日本共産党 南あわじ市議団 (2人)	200,000	31,455	12,350	0	0	19,664	32,952	0	0	96,421	103,579
政真クラブ (2人)	200,000	80,782	7,000	0	0	0	0	0	10,109	97,891	102,109
誠道クラブ (2人)	200,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	200,000
南あわじ市公明党 (1人)	100,000	80,402	11,985	0	0	0	0	0	0	92,387	7,613
成相クラブ (1人)	100,000	58,232	42,600	0	0	0	0	0	0	100,832	0
青空クラブ (1人)	100,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100,000
南あわじ市議会青年団 (1人)	100,000	79,966	43,342	0	0	0	0	0	0	123,308	0
うずしおクラブ (5月～11月：1人)	87,500	58,231	0	0	0	0	0	0	880	59,111	28,389
計	1,800,000	745,712	129,263	0	0	59,664	73,495	24,242	1,032,376	791,764	

※詳細は市ホームページ、または閲覧用書類（議会事務局に設置）をご覧ください。

一部事務組合などの議会報告

平成29年11月～12月

淡路広域行政事務組合

▼第4回臨時会
〈12月22日〉

人事院勧告に準拠し、職員給与に関する条例の一部を改正する条例制定についての議案を可決。
副議長選挙で木場徹議員を選出。

淡路広域消防事務組合

▼第4回臨時会
〈12月22日〉

人事院勧告に準拠し、職員給与に関する条例の一部を改正する条例制定についての議案を可決。

淡路広域水道企業団

▼第4回臨時会
〈12月22日〉

人事院勧告に準拠し、職員給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例制定、補正予算の議案を可決。
議長選挙で廣内孝次議員を選出。
監査委員に原口育大議員の選任に同意。

洲本市・南あわじ市衛生事務組合

▼第3回定例会
〈12月26日〉

職員の育児休業等に関する条例改正案を可決、平成28年度一般会計決算を認定。
副議長に原口育大議員を選出、監査委員に

南あわじ市・洲本市小中学校組合

▼第3回定例会
〈11月29日〉

平成28年度一般会計決算を認定。また、議長に吉田良子議員を選出。

印部久信議員の選任に同意。
蛭子智彦議員・原口育大議員が一般質問を行った。

「傍聴者の声」をお聴かせください



市民の皆さんの声を市政や議会運営に反映させるため、市役所本館4階の議場傍聴者出入口に「傍聴者の声」の箱を設置しました。ぜひ傍聴にお越しいただき、市議会に対するご意見・ご要望をお聴かせください。

なお、メールやFAXでも受け付けています。

- メールアドレス：
gikai@city.minamiawaji.hyogo.jp
- FAX：0799-43-5105

定例会

第77回 南あわじ市議会定例会日程（3月）

■本会議

◆開会はすべて午前10時～

会議日	会議内容（予定）
第1日 2月23日(金)	1. 平成30年度施政方針表明 2. 平成30年度一般会計、特別会計、 公営企業会計予算上程（説明） 3. 条例案上程（説明、質疑、委員会付託） 4. 平成29年度一般会計、特別会計補正予算上程 （説明、質疑、委員会付託） 5. その他の案件上程（説明、質疑、討論・表決 （一部）、委員会付託）
第2日 2月26日(月)	
第3日 3月2日(金)	
第4日 3月5日(月)	
第5日 3月6日(火)	
第6日 3月7日(水)	1. 一般質問（代表・個人） （平成30年度予算・施政方針の総括質疑を含む） 2. 平成30年度一般会計、特別会計、公営企業会計 予算（質疑、委員会付託） 3. 追加議案上程（説明、質疑、討論・表決（一部）、 委員会付託）
予備日 3月8日(木)	
第7日 3月26日(月)	1. 付託案件委員会審査報告（質疑、討論、表決） 2. 追加議案上程（説明、質疑、討論、表決）



■委員会

◆開会はすべて午前10時～

	会議内容	会議日
委員会	総務常任委員会	3月16日(金)
	産業厚生常任委員会	3月19日(月)

※平成30年度予算は、予算審査特別委員会を設置し、審査を行います。
 審査の日程は、予算審査特別委員会設置後、
 3月12日(月)・13日(火)・14日(水)・15日(木)で行う予定
 です。

議会の傍聴へ行こう



▲議場の傍聴席

議会ではどのようなことが話し合われ、まちの将来の姿がどのように決まっていくのかなどを知ることができます。ぜひ傍聴にお越しください。

本会議は市役所本館4階の議場で傍聴することができ、その様子を南あわじ市ホームページでインターネット中継放送を視聴することができます。

編集後記

今年「成年」です。相場感では「笑う」。成年生まれの人は忠誠心があり正義感が強いそうです。

選挙後、委員を一新しての広報紙発行となりました。「読んでもらいたい」という視点を变え、市民に「読んでみたい」と思われる広報紙の発行に努めたいと思います。

昨年は、「小池劇場」や「北朝鮮のミサイルとトランプのツイッター」で一年が過ぎました。どちらも大きな花火を打ち上げて人々の注目を引き付けました。

新市長が誕生して一年。花火は上がりました。どのような「着地」になるのか市民のみならず共に注目していきたいと思えます。

そして「笑って」成年が過ごせるようにしたいものです。
 （久米）